

マルチファクターモデルの進展とプレディクテッド・ベータ

西村 直哉 CMA
長澤 和哉 CMA

目次

- | | |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1. はじめに | 4. プレディクテッド・ベータとバーラ株式モデル |
| 2. 資産価格モデルの発展 | 5. まとめ |
| 3. マルチファクターモデルとしてのバーラ株式モデル及びその進展 | |

実務において広く用いられているバーラ株式モデルは、株式リターンを企業のファンダメンタルズ情報を通して理解する定量的枠組みを提供する。バーラ株式モデルから得られるファクターデータを用いることで、市場分析、株式リスク推定、投資パフォーマンス分解、ストレステストなど多様な分析が可能となる。また、マルチファクターモデルの枠組みから計算されるプレディクテッド・ベータは、高い安定性や推定精度などの強みを持つ。

1. はじめに

本稿では「金融実務家が用いるマルチファクターモデルとはどういったものであるのか」という観点から、実務において広く用いられているモデルの一つであるバーラ株式モデルの内容を解説する。あわせて、マルチファクターモデルの応用例の一つであり、企業価値評価の現場においても活

用されているプレディクテッド（予測）・ベータの内容・意義についても概説する。

本稿は多様な読者層を念頭に置いているが、プレディクテッド・ベータの活用実績から、特に企業価値評価にかかわる実務家を想定している。したがって、モデルの解説においてもファクターの種類や加工の仕方など、企業とモデルのかかわりに関する記述に重点を置いている。一方、モデル



西村 直哉 (にしむら なおや)

MSCI合同会社 ヴァイス・プレジデント、エクイティ・ソリューションズ・リサーチ。2017年10月入社。主に機関投資家に対してMSCIの指数やアナリティクス製品を用いたリサーチを提供している。りそな銀行やT&Dアセットマネジメントなどを経て現職。06年京都大学理学部卒業、18年一橋大学国際企業戦略研究科専門職学位課程修了（経営修士）。



長澤 和哉 (ながさわ かずや)

MSCI合同会社 マネージング・ディレクター。MSCIアジア太平洋地域業務執行委員、北アジア代表。2012年1月入社、18年10月より現職。過去、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント、明治生命保険（当時）において運用業務に従事。日本ファイナンス学会理事。上智大学客員教授。慶應大学大学院修了（理学修士）、慶應大学理工学部卒業。